

今月のおすすめ図書

～児童書～



『ゆめちゃんのハロウィーン』
作：高林 麻里
発行：講談社

～一般書籍～



『電気じかけのクジラは歌う』
著書：逸木 裕
発行：講談社

『怪談オウマガドキ学園』
シリーズ
責任編集：常光 徹
発行：童心社

読んだ感想
オウマガドキ学園で、
かわいい妖怪たちがさま
ざまな怪談を習う様子
が
おもしろい。



私のおすすめ!

栗須小6年
しげまつあゆみの
重松由惟華さん

小林市立図書館 111周年記念祭&読書まつり

図書 BOOKS

・開催日 10月26日(土曜) ・場所 市立図書館本館

越智一仁氏講演会
(14時～15時30分)
PRムービー「ンダモシタ
ン小林」のクリエイティブ
ディレクターによる講演

大出水陽香さんミニLIVE
(13時40分～14時)
インターネット上の動画やT
Vで話題の小林の歌姫による
ミニライブ

図書館テラス&ブックマーケット (10時～15時)
屋外でドリンク&軽食と一緒に本を楽しめます!

※講演会とライブの入場には図書館で配付の整理券が必要

10月の休館と開館時間

【本館】 1日と毎週月曜は休館
◆開館時間：9時～19時 ※日曜と祝日は17時まで
【須木分館・野尻分館】 1日と毎週月曜と祝日は休館
※須木分館は10月26日(土曜)休館
◆開館時間
須木：9時～17時
野尻：10時～18時30分 ※日曜は17時まで

天空の羅針盤 王様と王妃

星空 STARRY SKY



10月20日20時頃の北天

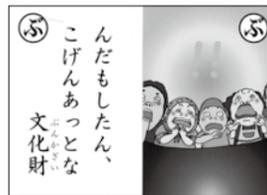
月の出が遅くなる下旬。北の空を見上げます。秋の星空の主人公・古代エチオピアの王様ケフェウスとその妃カシオペアが昇っています。王妃の自慢が元で秋の物語が展開していきます。カシオペアから線のようにたどると北がわかる北極星が見つかります。
【お知らせ】観望会は毎週土・日曜と14日(月曜)の19時、20時、21時から。20日(日曜)まで14～15時に昼間の観望会。毎週火曜休館。

文化の足跡

歴史 HISTORY

ふるさとの歴史を楽しく学ぶ こばやし文化財かるた

こばやし文化財かるたは、市内の文化財がユーモラスなイラストで描かれている43枚からなるかるたです。このかるたは通常のいろはかるたとは異なり、読み札は文化財の説明から入り最後に文化財の名称を読み上げる方式になっているため、読み札の最初の文字を聞いただけでは絵札は取れず、絵札に描かれている文化財の名称を覚えるか、文化財の説明を聞いて対象の文化財を連想しないと早い段階で絵札を取ることができない、いわば百人一首のようなゲーム性を持たせていることが特徴です。毎年11月3日の総合文化祭の時にはかるた大会が行われています。皆さんもふるさとの文化財で楽しんでみませんか。



第4次産業革命により訪れる未来社会「Society 5.0」。狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く新たな社会として、日本政府も科学技術の基本指針として位置づけています

今の子どもたちが大人になるころには、身の回りにあふれている情報や最新技術を活用できる資質・能力が必要となります。その資質・能力こそが、プログラミング教育で学ぶ、発想力や論理的思考力です。

第4次産業革命による 新たな社会

2020年(令和2年)、いよいよ小学校で「プログラミング教育」が必修化されます。そのため、学校のコンピュータやネットワークを利用するための環境整備が必要で、情報教育の充実に必要な環境整備の状況についてお知らせします。

市内全小・中学校に無線LAN環境を整備。 11月にはタブレットPCも配備し、ICT教育を推進

またAIの台頭や最新技術によって、20年後には、現在の仕事の半数がなくなると言われています。反対に、AIや最新技術を扱う新しい仕事が生まれるとも予測されています。新学習指導要領では、言語能力と同じように、情報活用能力が学習の基盤と位置づけられています。

20年後には現在の仕事の 半分がなくなる?

全学校に無線LANと タブレットPCを整備

や情報通信ネットワークなどを活用するための環境を整えることが必要です。市では平成30年度に国の補助金を活用し、全小・中学校に無線LAN環境を整備。Kobayashi City Wireless サービスとして開放するほか、教育用として活用しています。また同年度、株式会社ミヤザキ様からいただいた寄附金を活用し、小学校5校にタブレットPCを配備。普段の学習でも使用され、生徒からは「みんなで画面を共有して見られるのいい」、教員からは「多様な意見を共有できる」「思考を表現しやすい」という声が上がっています。さらに今年度11月には、全小・中学校にタブレットPCが配備されることとなっています。

ICTによる教育で活性化 する対話と深まる理解

また、グループによる授業では、タブレットPCを使うことで各時間や発表に割かれていた時間が短縮され、効率的かつスムーズに情報共有できるようになっており、「アウトプットの質・量も上がっている」という教員の声もあります。ICTの活用は、効率化だけでなく、児童生徒に主体性が生まれ、授業の理解の深まりにもつながっています。小林市では、ICT活用を更に推進し、未来を生き抜く子どもたちの資質・能力の育成に取り組んでいきます。



グループ学習(数学)の様子。タブレットPCの画面上でグラフの描き方を視覚的に共有できる